

自衛消防隊の初期消火訓練

●首都圏総務部

「消火はじめ！」——それぞれが手にした消火器から放出される白い粉末が燃えさかる炎をみるみる消してゆく。7月12日、新宿新都心の消防訓練場で、本社ビル自衛消防隊員多数が参加して、消火訓練が行われました。

幸田隊長（首都圏総務部長）の「いざという時、正しい消火作業ができるように、参加者全員が身体で消火器の使い方を会得してほしい」との挨拶のあと、新宿消防署の係官の消火器の使い方の説明をうけ、文字通り全員参加の消火訓練となりました。

最後に女子だけの消火も行われ、暑い最中でしたが、全員が汗を拭いながら火と取り組みました。



皆さん、真剣そのもの

ブラジルのミス2世が当社を訪問

●国際部

8月2日、ブラジルのミス2世コンテストに優勝されたイレーネ・サチコ・サトウさんが当社を訪問されました。ブラジルの当社子会社「南米安田社」が彼女の日本へのご褒美旅行に海外旅行傷害保険をプレゼントしたことから今回の訪問となったもの。

元ブラジル駐在員柚木囑託をはじめ、国際部関係者がブラジル語と日本語を混ぜ合わせて応待、しばし歓談の時を持ちましたが、さすがはミス2世、163cm—85—56—90の完璧なプロポーションと深い教養は、ブラジル仕込みの小麦色の素肌（ただし未確認）と相まって、ひととき仕事の憂さを忘れるに余りあるものがありました。

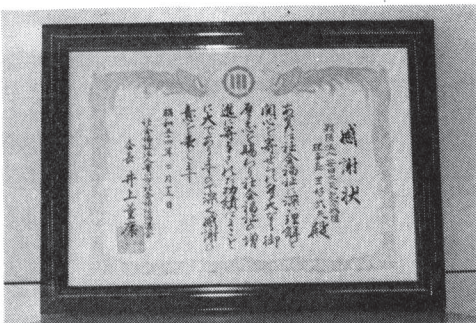


本社43階で。左から柚木囑託、イレーネさん。右2人は付人。

《安田火災記念財団だより》

●豊川市社会福祉協議会から感謝状

去る7月15日（日）、愛知県豊川市文化会館で開催された豊川市社会福祉顕彰式（豊川市および同市社会福祉協議会主催）で、三好理事長が社会福祉功労者として顕彰され、同市社会福祉協議会から感謝状および記念品（額縁）の贈呈を受けました（名古屋支店長所用のため岩崎業務開発部長および堀川豊橋支店長が代行して受領）。



これからもますます感謝状も増えてゆくでしょう

この顕彰は、昨年度、当財団社会福祉事業の1つとして在宅障害児送迎用マイクロバス購入資金100万円を同市社会福祉協議会に助成したことに対するもので、この助成は、安田火災名古屋支店のお力添えにより、日産車（キャラバン）納入という形で具体化され、同車は現在同市在宅障害児の足となって活躍しています。

●安田火災記念財団叢書の刊行

昭和53年度版安田火災記念財団叢書（財団主催講演会の内容を記録したもの）が逐次でき上り、現在（8月7日）、庭田慶大教授『高価な保障・有効な保障』、鴻東大教授『保険と共済』の2冊が刊行されていますので、ご希望の方は財団事務局へお申し出ください。

●財団の業務体制について

安井副理事長が7月26日安田火災副社長に就任、その後の財団業務体制について、変更になったのは次の通りです。

副理事長（非常勤） 安井 誠〔旧：副理事長（常勤）〕
常務理事（常勤） 島 健二〔旧：常務理事 兼事務局長（常勤）〕
事務局長（常勤） 瓜生二郎